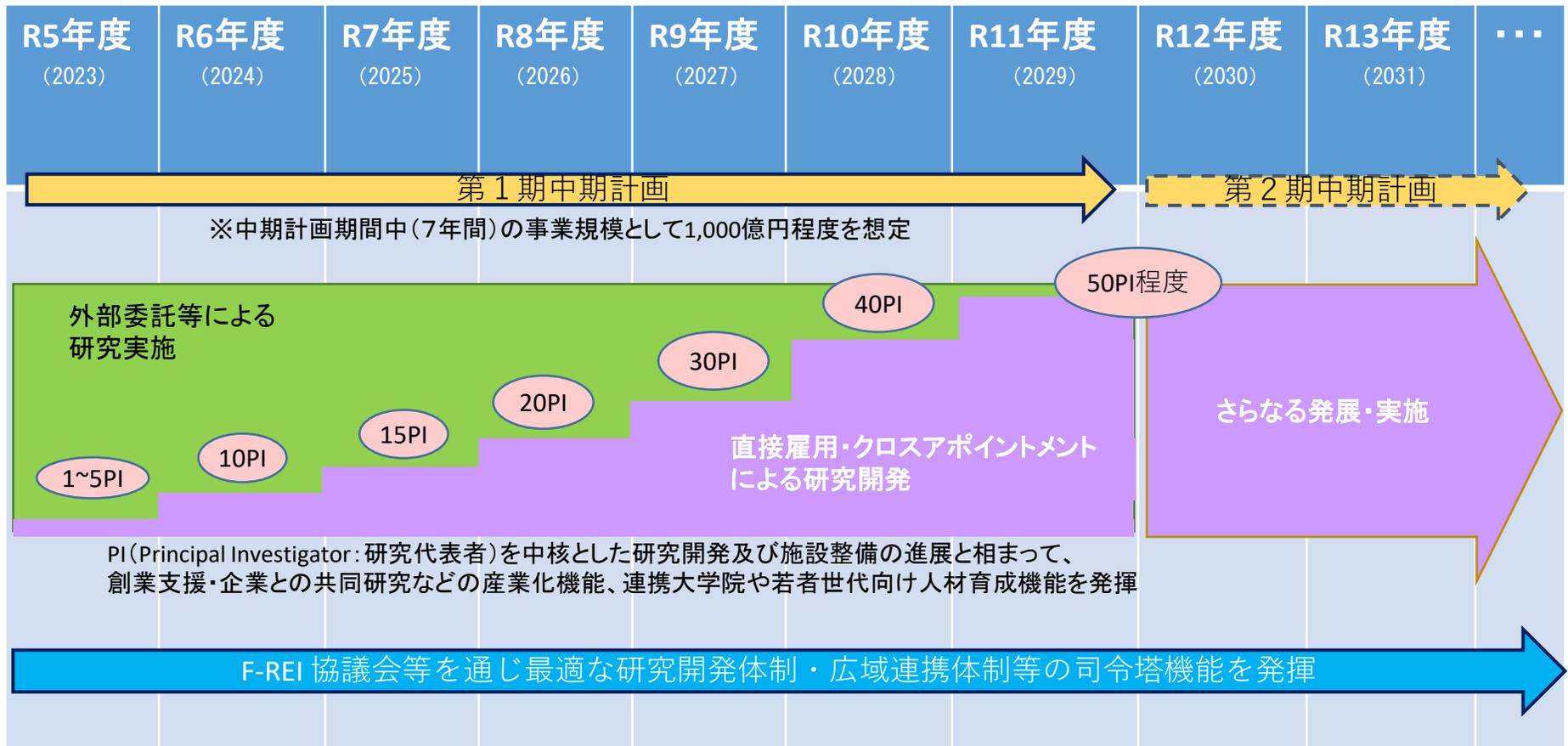


F-REIの今後のスケジュール等



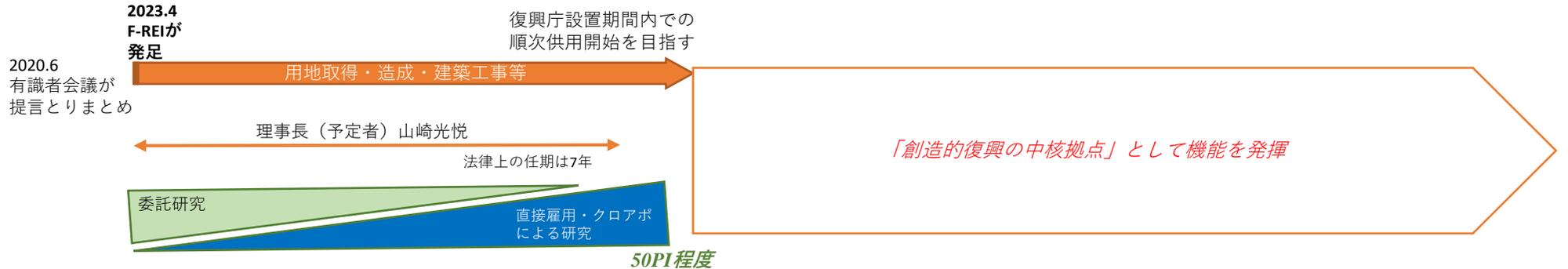
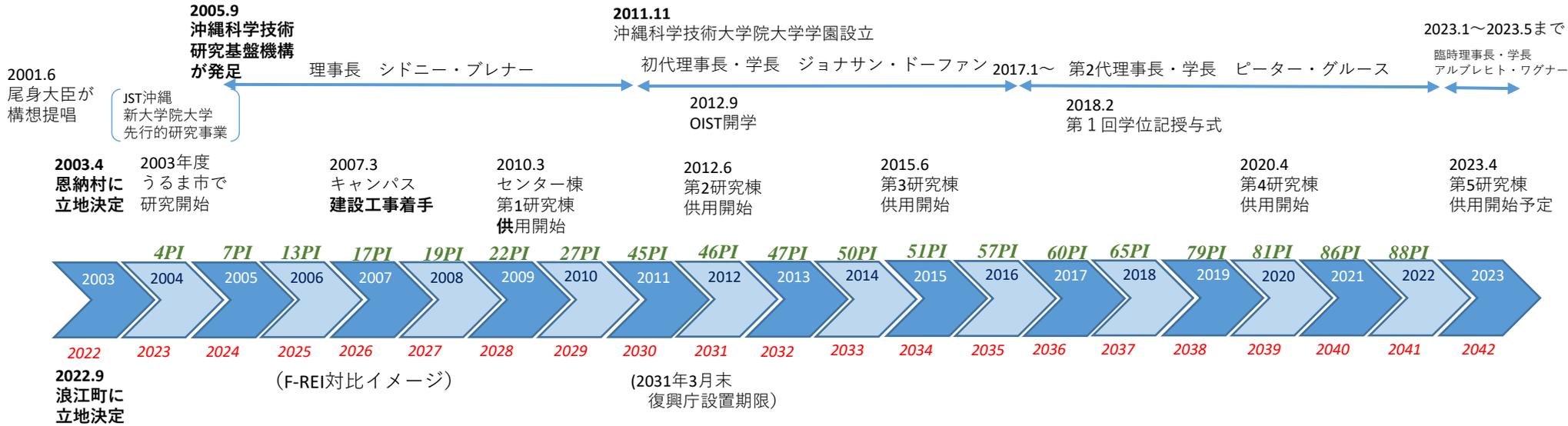
施設整備

復興庁設置期間内での順次供用開始を目指すこととし、さらに可能な限りの前倒しに努める

- 施設基本計画のとりまとめ、都市計画手続き
- 基本・実施設計、用地取得
- 造成工事
- 建設工事 → 竣工後順次供用開始

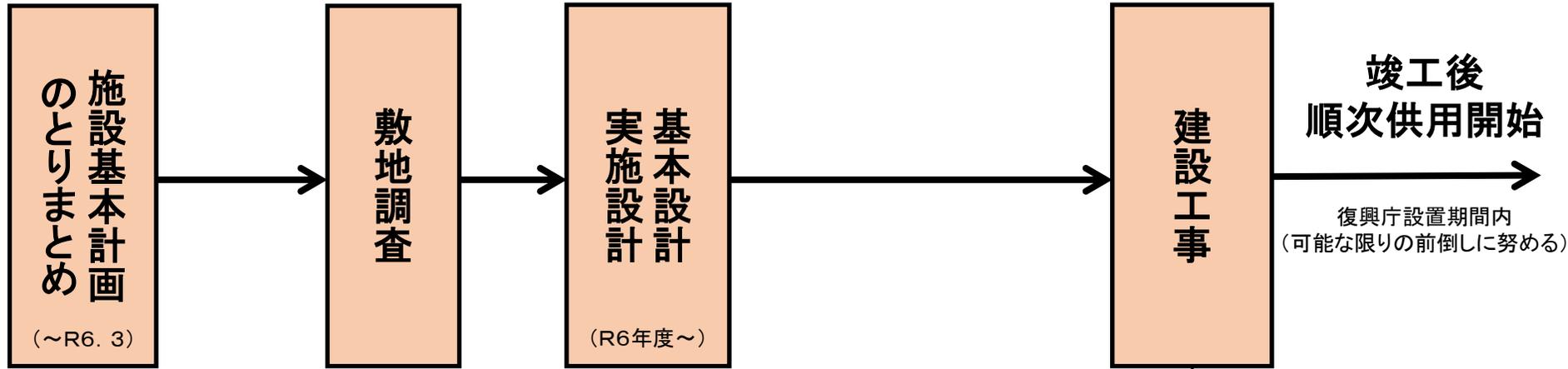
OISTとF-REIのスケジュール等対比

OIST: 沖縄科学技術大学院大学

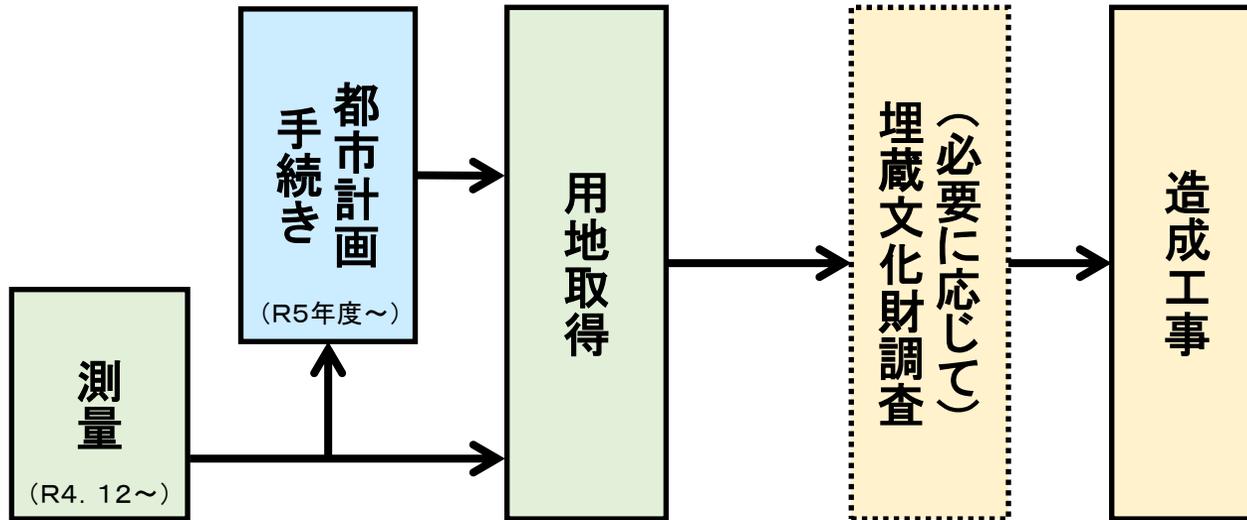


F-REI 本施設整備の進め方(イメージ案)

建物関連



敷地関連



F-REIに関する当面の主なスケジュール

※現時点における想定であり、内容そのものや実施の有無を含め、変更可能性あり

- ① 令和5年5月10日 第1回 新産業創出等研究開発協議会
※ 以後順次、ワーキンググループ、サブワーキンググループを設置、開催
- ② 令和5年5月～令和6年3月 令和5年度F-REI トップセミナー（各大学、高専、高校等で順次開催）
 - ・ 5月17日 福島大学トップセミナー
 - ・ 5月30日 会津大学トップセミナー
 - ・ 6月13日 相馬高校トップセミナー
 - ・ 6月30日 会津学園高校・中学校トップセミナー
 - ・ 7月 4日 会津高校トップセミナー
 - ・ 7月14日 小高産業技術高校トップセミナー
 - ・ 9月12日 ふたば未来学園高校トップセミナー
- ③ 令和5年6月～令和6年2月 F-REI市町村座談会（15市町村ごとに順次開催）
 - ・ 6月20日 いわき市座談会
 - ・ 7月 5日 南相馬市座談会
- ④ 令和5年6月～令和6年3月 研究開発等WG、広域連携WG
- ⑤ 令和5年9月 第2回 新産業創出等研究開発協議会

F-REIの中期目標、中期計画の策定について

中期目標、中期計画について

○福島復興再生特別措置法（平成24年法律第25号）（抄）

（中期目標）

第百十二条 主務大臣は、七年間において機構が達成すべき研究開発等業務（第百十条第一項各号に掲げる業務のうち、第百十七条第一項に規定する助成等業務を除いたものをいう。以下同じ。）についての運営に関する目標（以下「中期目標」という。）を定め、これを機構に指示するとともに、公表しなければならない。これを変更したときも、同様とする。

2、3 略

4 主務大臣は、中期目標を定め、又は変更するときは、あらかじめ、復興推進委員会及び総合科学技術・イノベーション会議の意見を聴かなければならない。

5 主務大臣は、前項の規定により中期目標に係る意見を聴くときは、あらかじめ、原子力災害からの福島復興及び再生の推進を図る見地からの福島県知事の意見を聴かなければならない。

（中期計画）

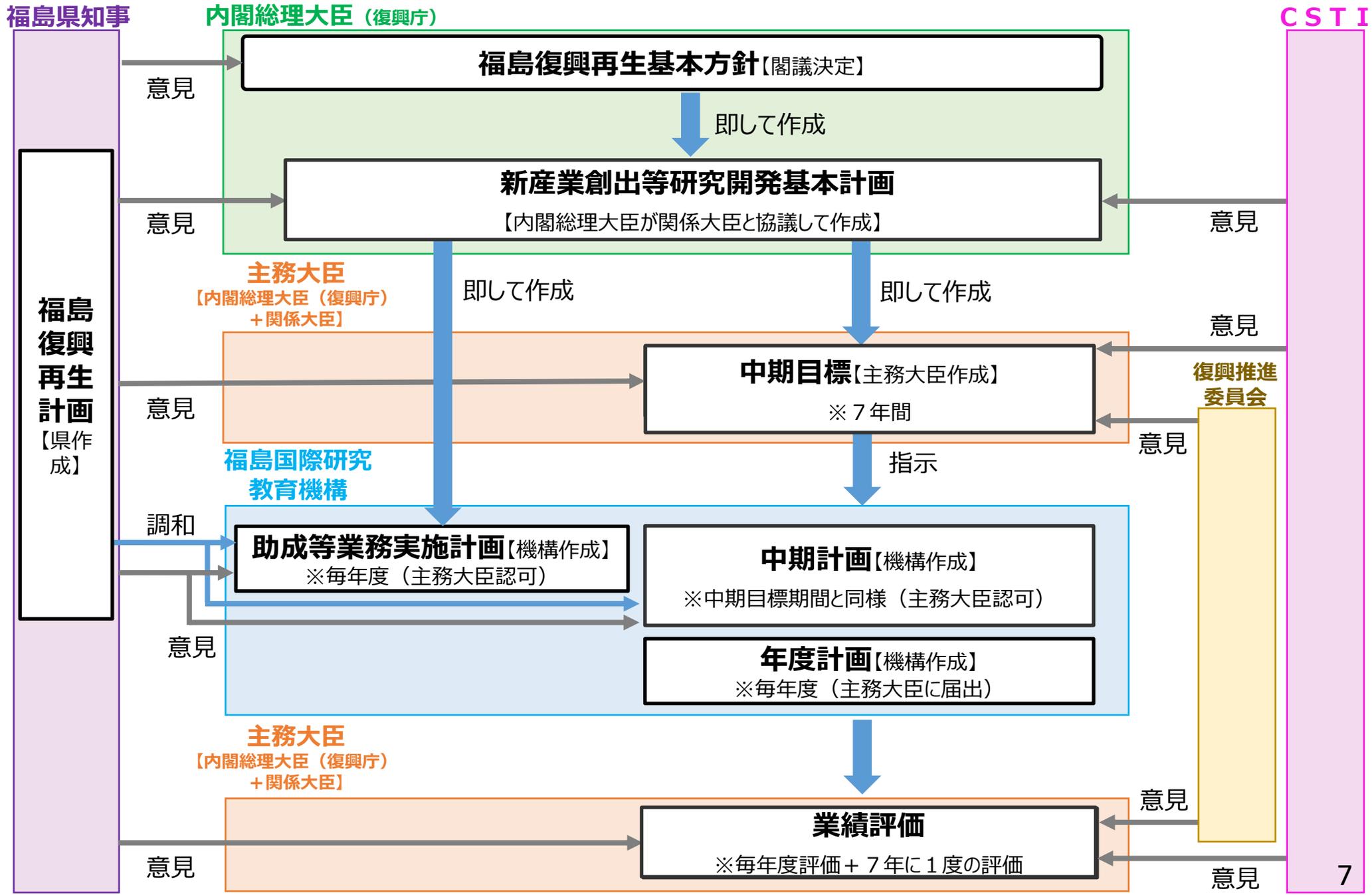
第百十三条 機構は、前条第一項の規定により中期目標の指示を受けたときは、主務省令で定めるところにより、当該中期目標を達成するための計画（以下「中期計画」という。）を作成し、主務大臣の認可を受けなければならない。

2～7 略

策定のスケジュール

R4年度				R5年度	
12月	1月	2月	3月	4月	
中期目標（案）の作成（主務大臣）				4月1日 策定・機構に指示	
中期目標意見聴取 （復興推進委員会・科技イノベーション会議・福島県知事）				中期計画作成	4月7日 中期計画 認可

(参考) 福島国際研究教育機構に係る計画体系



令和5年度F-REI トップセミナー

福島の創造的復興と発展を中長期的に支える地域の未来を担う若者世代等を対象とした人材育成の取組の一環として、福島県内の大学、高等専門学校、高等学校の学生・生徒を対象に、最先端の科学技術の魅力と可能性等に関し、F-REIトップ陣によるセミナーを行うもの。

トップセミナーの概要

○開催時期：令和5年5月～令和6年3月
(対象機関との調整により順次実施)

○講師：山崎光悦理事長ほか
F-REIトップ陣（F-REIの役員や各研究分野の分野長など：学校側からの指定は不可）



○実施内容：

- それぞれの学校等における1授業時間枠内を想定
- 実施校側で確保する施設を利用した対面開催を基本
(新型コロナウイルス感染症の動向等も考慮の上、オンライン等により実施の可能性もあり)
- 以下に関する講義を実施
(一部、学生・生徒との双方向のやり取りも含む)
 - 最先端の科学技術の魅力と可能性
 - 学ぶことの重要性と未来をどう築くか
 - F-REIの役割と将来像

等

実施対象

○実施対象：

福島県内の大学、高専、浜通り地域等の高等学校

(注) 実施当日の会場確保・設営、機器等環境の整備、当日の運営等については、各対象学校において対応いただくものとする。(謝金、旅費等は一切不要)

実施スケジュール

○スケジュール

- | | |
|-------|-------------------|
| 5月17日 | 福島大学トップセミナー |
| 5月30日 | 会津大学トップセミナー |
| 6月13日 | 相馬高校トップセミナー |
| 6月30日 | 会津学園高校・中学校トップセミナー |
| 7月4日 | 会津高校トップセミナー |
| 7月14日 | 小高産業技術高校トップセミナー |
| 9月12日 | ふたば未来学園高校トップセミナー |

以降、順次開催

令和5年度 F-REI市町村座談会（開催案）

研究開発・産業化・人材育成の取組における広域連携体制の構築を図るため、市町村や住民、企業・団体等、多様な主体と対話する場として、市町村ごとに座談会を開催するもの。

座談会の概要

- 市町村長のほか、地域で活躍する人材や企業等との直接対話
- 多様なシーズやニーズを把握するための現地視察や意見交換等

－開催イメージ（例）－

- 10時～11時 役場で市町村の現況や課題等のヒアリング、
首長ほか職員との意見交換
- 11時～12時 市町村内の農業従事者等を訪問し、
現地視察しながら意見交換
- 12時～13時 農業従事者等も交えての昼食会
- 13時～16時 市内の産業関係施設（立地企業、地場企業、
教育施設等）を訪問し、現地視察しながら
意見交換（3～4か所程度）
- 16時～18時 （F-REIの取組紹介を含めた）市町村内の
関係者との座談会

開催場所

福島浜通り地域等の15市町村で実施
（※）福島県庁の協力を得ながら開催

F-REI側訪問者

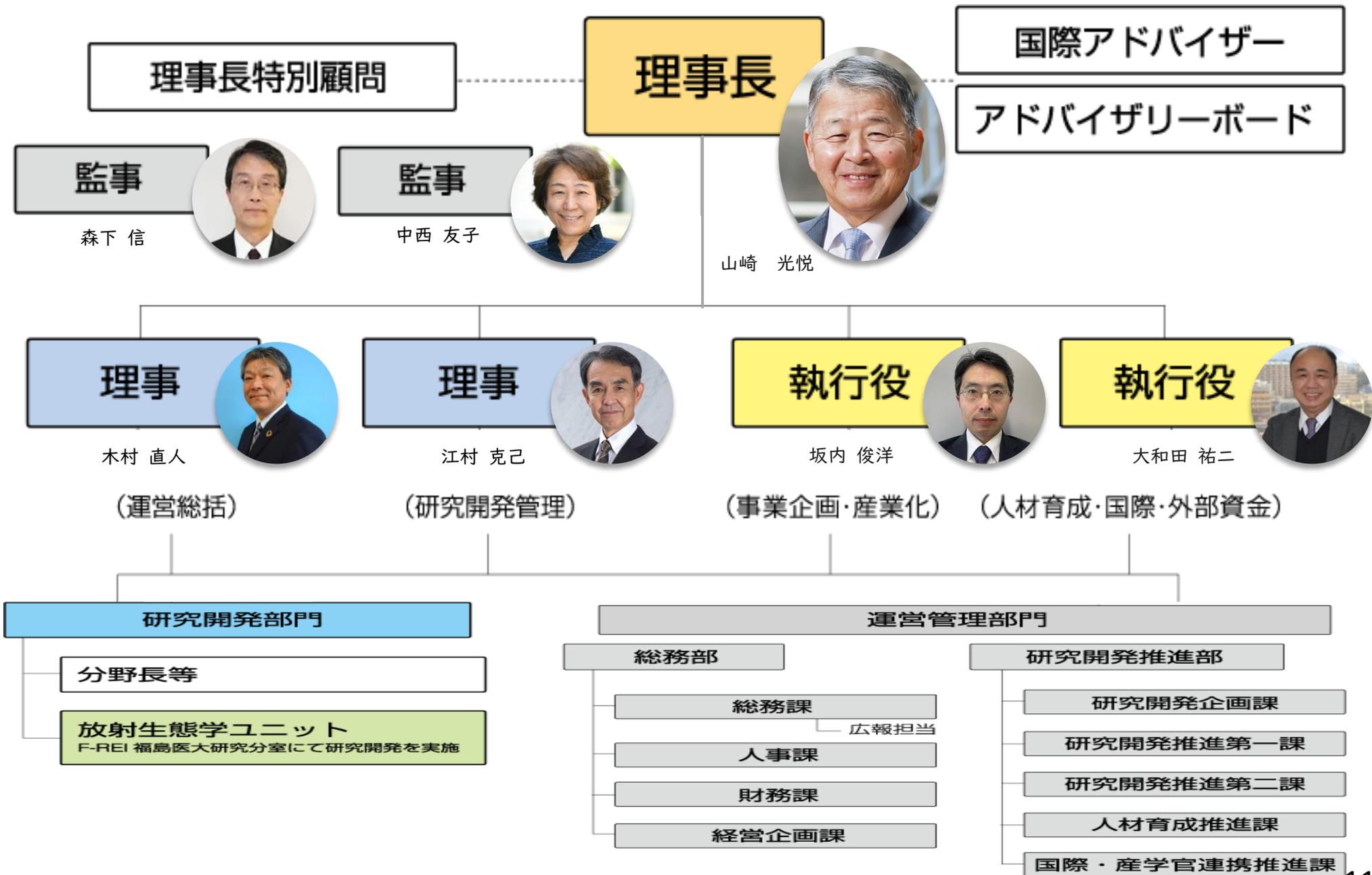
山崎光悦理事長ほか役員等

開催スケジュール

6月20日 いわき市座談会
7月 5日 南相馬市座談会
以降 毎月1～2市町村程度を訪問

(参考)

福島国際研究教育機構(F-REI)の組織体制について(R5当初)



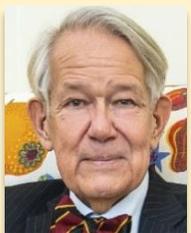
理事長特別顧問

(五十音順)

	<p>なんば ともこ 南場 智子</p>	<p>1990 ハーバード大学MBA(経営学修士)取得 1996 マッキンゼー日本支社パートナー(役員) 1999 株式会社ディー・エヌ・エー設立、代表取締役社長(～'11) 2015～ 横浜DeNAベイスターズ球団オーナー(～現在) 2017～ 株式会社ディー・エヌ・エー代表取締役会長(～現在) 2021～ 日本経済団体連合会副会長(～現在)</p>
	<p>やました しゅんいち 山下 俊一</p>	<p>1978 長崎大学医学部卒業 1990 長崎大学医学部附属原爆後障害医療研究施設教授 2011 福島県立医科大学副学長兼放射線医学県民健康管理センター長 (同センター長～'13.3) 2013 長崎大学理事・副学長(～'17.9) 2018～ 福島県立医科大学理事長特別補佐・副学長(～現在) 2019 量子科学技術研究開発機構高度被ばく医療センター長 (～'21.3) 2021 同機構量子生命・医学部門放射線医学研究所長 (～'23.3)</p>

国際アドバイザー

(アルファベット順)

	<p>スヴァンテ・ リンドクヴィスト 博士</p>	<p>スヴァンテ・リンドクヴィスト博士は、科学技術史学の国際的に著名な研究者で、スウェーデン王立アカデミー会長(2009-2012)や、スウェーデン王宮府長官(2010-2018)も務めました。またスウェーデンのストックホルムにノーベル博物館を創設し、初代館長を11年間にわたり務めました。日本とスウェーデンの学術交流にも大きく寄与してきており、日本学士院客員も務めています。</p>
	<p>ライムント・ ノイゲバウアー 博士</p>	<p>ライムント・ノイゲバウアー博士は、ドイツに拠点を置き世界をリードする応用研究機関であるフラウンホーファー研究機構の理事長を2012年から務めています。ノイゲバウアー博士はドレスデン工科大学で機械工学を学び、1994年から2012年までフラウンホーファー工作機械・成形技術研究所長を務めました。また、2000年から2012年まで、ケムニッツ工科大学(TU Chemnitz)工作機械・生産過程研究所所長も務めました。ノイゲバウアー博士は、2022年からドイツ首相未来評議会委員を務めています。</p>
	<p>フィオナ・ レイモン 博士</p>	<p>フィオナ・レイモン博士は原子力分野において30年間にわたり戦略的・運用上の貢献をしてきました。化学・工学の専門家として英王立工学アカデミー、英王立化学協会、および英国立原子力研究所のフェローを務めています。国際原子力会議において、定期的に基調講演を行っているほか、経済協力開発機構/原子力機関(OECD/NEA)運営委員会副議長も務めています。また、科学における参加の多様性拡大を長年支援し、原子力分野における女性や障害者などの参加の取組を先導しています。</p>
	<p>スブラ・ スレッシュ 博士</p>	<p>スブラ・スレッシュ博士は、材料科学・工学、機械工学、生物工学および健康科学技術の分野における国際的に著名な研究者であり、2010年から2013年まで米国国立科学財団(NSF)の長官を務めました。スレッシュ博士のリーダーシップの下、NSFのプログラムやイニシアチヴにより、米国は科学・工学の最先端にあって、次世代の科学者・工学者を育成し、経済成長とイノベーションを進展させました。また、スレッシュ博士はカーネギーメロン大学学長(2013年-2017年米国)及び南洋工科大学学長(2018年-2022年シンガポール)を歴任しました。</p>

アドバイザーボード

(五十音順)

	<p>いしむら かずひこ 石村 和彦</p>	<p>1979 東京大学大学院工学系研究科修士課程修了 2008 旭硝子(現AGC)代表取締役兼社長執行役員 2015 旭硝子代表取締役会長(～'21) 2018～ 一般社団法人経済同友会副代表幹事 2020～ 国立研究開発法人産業技術総合研究所(産総研)理事長 2021～ 産総研最高執行責任者兼務</p>
	<p>ながた きょうすけ 永田 恭介</p>	<p>1981 東京大学薬学研究科博士課程修了 1985 国立遺伝学研究所分子遺伝研究系助手 1991 東京工業大学生命理工学部助教授 2001 筑波大学基礎医学系教授 2013 筑波大学長</p>
	<p>はらやま ゆうこ 原山 優子</p>	<p>1996 ジュネーブ大学教育学博士課程修了(教育学博士) 1997 ジュネーブ大学経済学博士課程修了(経済学博士) 2002 東北大学大学院工学研究科教授 2013 総合科学技術・イノベーション会議常勤議員(～'18) 2020 理化学研究所理事(～'22)</p>
	<p>やまな はじめ 山名 元</p>	<p>1981 東北大学大学院工学研究科博士課程修了(工学博士) 2002 京都大学原子炉実験所バックエンド工学研究部門教授 2013 国際廃炉研究開発機構(IRID)理事長 2015～ 原子力損害賠償・廃炉等支援機構(NDF)理事長</p>